

# つながり

「つながり」は、医療や介護に従事する皆様が、多職種に向けて自らの情報を発信し、互いに理解を深め、顔の見える関係を築くための連携ツールとして、季節の節目ごとの発行を予定しております。皆様からのご意見やご要望、ご提案など、是非、本センターまでお寄せください。お待ちしております。

## コロナ関連1 オンラインによる『顔の見える関係』を体験しました

大人数で集まることが難しい今、オンラインツールの活用が注目されています。5月末、秋田市地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会幹事と秋田県中央地区介護支援専門員協会の有志の方々にご協力頂き、ビデオ会議ソフト「Zoom」を使った情報交換会を先行開催しました。参加者は事前に配られたIDとパスワードを使ってログインし、ホスト（主催者）から承認されるとミーティングに参加できる仕組み。途中、ブレイクアウトルーム機能を活用して3つのグループに分かれ、グループワークも行いました。

Zoom初挑戦の参加者も多く、設定するところから苦戦した話なども聞かれましたが、慣れることで研修形態の幅が広がるのでは、と今後の展開に期待する声もあがりました。また、インターネット回線が使え、他の職員と声が交わらない場所を確保する事が意外にも難しく、自宅を選んだ方や他部署の事務所を借りた方（そのために数名の方がマスクを着用されています）など様々でした。これらの環境の整備については、今後大きな課題の一つになるのでは、と多数の方から意見がありました。

以前にも研修で利用した経験のある参加者からは「自分の話が相手に伝わっているのかわかりづらい。聞く側は、大きくうなずくなどオーバーアクションを心がけるといい」「自分の持ち時間を決めて話をする訓練も必要」などのアドバイスがありました。

※Zoomとは、複数人が同時に参加できるビデオ会議ソフト。参加者は新たにアカウントを作成する必要がなく、管理者から送られてきたURLをクリックするだけで参加可能。

今回の情報交換会は、試みとして平日の12時半から13時の時間帯に実施しました。今後は市内の多くの関係者が参加し繋がれるよう、時間帯や環境整備なども含め、企画検討していく予定です。



グループワーク中の光峰苑居宅介護支援センター 三浦氏



途中参加途中退室可、という設定で呼びかけたところ、全部で9人の関係者が集まりました

途中で何度も音声が切れてしまいました

直接会わなくても顔が見える

スマホの充電が半以下に…!

純粋に、楽しい

とにかく慣れること!

他の職員の邪魔になりそう。一人で使える部屋を確保しなければ

自分の言葉が相手に伝わっているのわかりづらい

慣れれば事例検討もできるかな

新しい物を取り入れていく過渡期だと実感します

少人数短時間でも情報交換できますね

画面に映るのが恥ずかしい

連携センターの熊谷です。ホスト役（会の主催者で、ゲストを招待する等の役目があります）を体験させていただきました。画面上で複数の人の顔を見ながら意見交換ができメリットも多そうなツールですが、参加者全員が容易に操作できるか、インターネットの回線や場所は確保できるか、など課題も多く感じました。また実際に体験して分かったことですが、お互いの雰囲気を感じにくい分より明確な言葉での進行を心がける、参加者の画像が隠れないよう資料の共有は時間を区切る、などなど、ホストとして配慮すべき点がたくさん・・・!ホストもゲスト（参加者）も、みんなで慣れていく必要性を感じました。

今回は「まずはみんなで体験してみよう」という思いから出発した情報交換会でしたが、今後は「新しい日常」における連携ツールの一つとして、有効な活用方法を検討していきたいと考えています。ビデオ会議ソフトに限らず、使いやすいツールや面白そうな取り組みの情報提供、研修や意見交換会合同開催のお誘いなど、皆様からのお声かけをお待ちしております!



## コロナ関連2 取り組んだこと、感じたことを教えてください

### 正しい情報を伝える役目

いずみメイプル薬局 薬剤師 高橋 隼人氏

薬局の患者さんでは、情報過多によりかえって混乱し、不安を訴える方もいらっしゃいます。窓口で手洗いや消毒方法などを伝えておりますが、コロナウイルスに限らず年間を通して様々な感染症が考えられるため、これを機に感染予防に対する知識を持っていただけるよう心がけて対応しています。正しい情報を伝えることも、薬剤師の大切な役目だと思います。



### 状況に合わせた準備を

秋田往診クリニック 事務長 佐々木 陽光氏



感染拡大が最悪の状況になることも予測し、国のガイドラインを参考にしてフェーズ毎に対応方法を準備しています。今後対応を解除していく際にも基準に則った方法、周辺の状況に合わせた対応が必要と考えています。また、事務は外部とのやり取りの第一窓口になるため、相談の電話を受けたときは、医師や看護師につなぐ前にいつもより慎重な聞き取りを心がけています。

### 新しいコミュニケーションの形

介護老人保健施設 桜の園 相談員 小室 勝則氏

スカイプ等を活用し、利用者さんとオンライン上で面会できるようにしました。感染予防として始めた取組ですが、遠方に住む家族との面談や医師からの病状説明、リハビリ中の様子を見ていただくことが可能になるなど、結果として家族とのコミュニケーションの幅が広がったと感じています。いいと思うものはこの先も残していくつもりです。



### 在宅医療を支えるために

秋田市医師会訪問看護ステーション 看護師 朝倉 奈緒子氏



訪問前の検温や手指消毒の徹底、ディスポエプロンの使用、訪問靴の消毒など、看護師自身が感染源にならないよういつも以上に気を配っています。万が一事業所が休止になったとしても、訪問看護指示書のやり取りや契約など制度上の壁があり、他の訪問看護ステーション同士でカバーすることは難しそうです。今後の課題と言えるかも知れません。

### 「連携の密」を深めて・・・

秋田市医師会 会長 松岡 一志氏

5月から、月2回の理事会協議事案は必要最小限の担当理事が集まって事前協議し、オンラインにより理事会全体の意思決定を諮っていましたが、6月からは従来通りの理事会に復帰することになりました。また、仮設診療所設置のためのプロジェクトチームを立ち上げ、コロナ第2波、第3波の到来に向けた準備も進めています。市内感染者はここ2ヶ月余り報告されていませんが、我々、医療・介護関係者同士、今後も「3密」を避けつつも「連携の密」を深めて、ともにこの難局を乗り越えていきましょう。



## 医療・介護施設をお探しの方は『施設検索』をご活用下さい



連携センターホームページのトップページから検索しやすくなりました。

ホームページ内に、秋田市内の医療・介護施設の基本情報、詳細情報、マップを掲載しております。トップページからも検索しやすくなりましたので、施設をお探しの際は是非ご活用下さい。

以下の3通りの方法から検索できます。

①施設区分から：施設区分を選択後に地域をチェックする事で、該当施設のリストが表示されます。②施設名から：検索ボックスに施設名（名称の一部でも可）を入力する事で、入力した語句が含まれる施設のリストが表示されます。③地域から：地域区分を選択する事で、地域内の全ての施設のリストが表示されます。（マップへの切り替えも可能です）

\* 検索方法は、ホームページ→お知らせ→ホームページをリニューアルしました！→施設検索 操作説明 に詳しく記載しておりますので参考にしてください。

### 秋田市在宅医療・介護連携センター

〒010-0976 秋田市八橋南一丁目8番5号(秋田市医師会館内)

TEL : 018-827-3636 FAX : 018-827-3614

E-mail renkei-center@acma.or.jp

URL <http://www.acma.or.jp/renkei/>

